



常呂川森林ふれあい推進センター

常呂川森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育に取組む企業・学校・NPO等の活動支援や技術指導を行うとともに、関係団体・市町村の林務担当等と連携して、森林ふれあい活動に取組んでいきます。

今回は、当センターの活動のなかで、連携して森林ふれあい活動を行っている団体の一つである森林ボランティア「オホーツクの会」を紹介いたします。

結成10年
変わらぬコンセプト

森林ボランティア「オホーツクの会」は、森林ボランティア活動を通じて、「森林とのふれあいを楽しみながら、森林について理解を深めていきます。」
「あるべき姿の森林づくりを手助けしていきます。」
「森林を愛する仲間の輪を拡げて行きます。」を

コンセプトに平成20年3月に設立されました。以降、「オホーツクの森」(北見市・網走市に広がる国有林)及び周辺国有林等をフィールドに森林づくり・森林環境教育に関わる活動をしています。

常呂川FCと
二人三脚で

当センターが実施する各種イベントについて共催・協力者として関わるほか、独自の企画を通じて地域住民に森林の理解や関心を持っていただくことにも取り組まれています。

主な活動は、①会主催の森林散策会、自然観察会の実施(年2回程度)
②「オホーツクの森」の遊歩道の整備(倒木・落枝の除去、草刈り等)
③「ふれあいの森」協定に基づく活動
④各種イベントでの木工クラフトや竹とんぼづくりの指導
⑤会報の発行

(年4回程度、平成31年4月現在45号) ⑥当センターと連携した植樹・育樹活動(草刈りや枝打ち等)や森林教室などです。



「国民の森林づくり感謝状」を贈呈することとなり、本年5月25日に、「オホーツクの会」に木製感謝状を贈呈しました。

この表彰のほか、平成26年度には、公益社団法人北海道森と緑の会より「ほかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール奨励賞」も受賞しており、各方面からも、その活動が評価されています。

当センターでは、今後も地域の森林ボランティア活動を行っている団体等と連携しながら森林ふれあい活動を推進します。



感謝状贈呈(左 オホーツクの会会長)

このような取組が認められ、道内国有林において森林づくり、森林環境教育等に功績のあった団体等に贈る北海道森林管理局